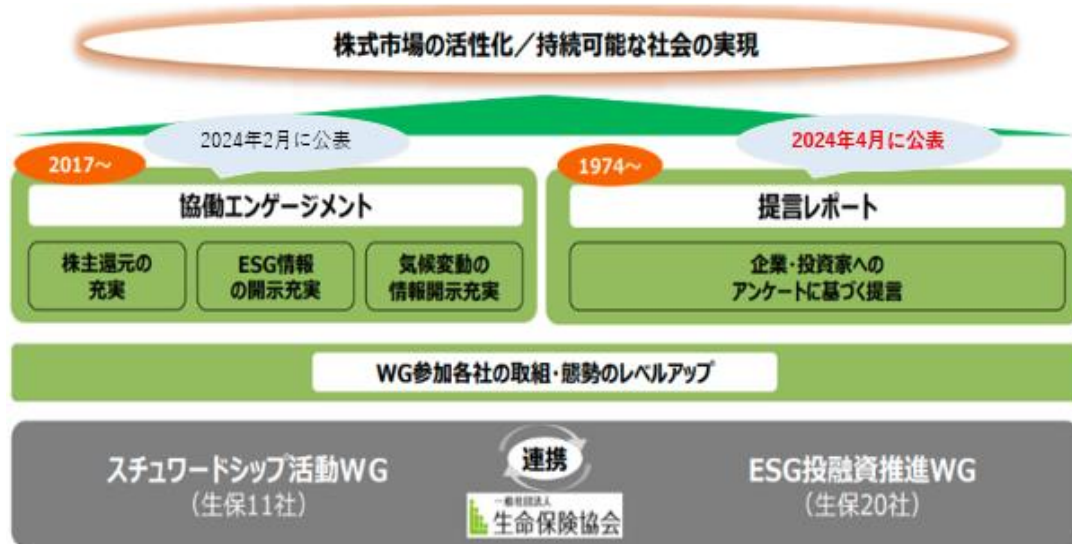


2024年4月19日

生命保険会社の資産運用を通じた 「株式市場の活性化」と「持続可能な社会の実現」に向けた取組みについて

生命保険協会（会長：清水博 日本生命保険社長、以下「当会」）は、株主・投資家双方の立場から、株式市場の活性化・持続可能な社会の実現に向けた提言をとりまとめた報告書を公表しましたのでお知らせします。本取組みは、1974年度より毎年実施しており、本年で50年という節目を迎えます。



当会では、株式市場活性化と持続可能な社会の実現を企図した2023年の活動内容等について、企業（上場企業1200社）および投資家（生命保険会社等の機関投資家200社）に対しアンケートを実施しました。

本報告書では、上記アンケートの分析結果をもとに、資本コストや株価を意識した経営や、投資家と企業の対話の推進、開示の充実等に対し高まる社会的な要請を踏まえ、提言内容を見直しました。

<見直しを実施した主な提言内容>

変更	【提言①】株主還元を含む財務・資本戦略の投資家への十分な説明と、中長期的な株主還元拡大（配当性向 30%以上）
	【提言②】資本コストや資本収益性の分析・評価に基づいた ROE 目標設定と水準向上
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応や、投資家との対話の推進・開示を求めること等に対して社会的な要請が高まる一方で、上記アンケートにおける「経営目標／財務戦略」の項目につき、企業・投資家間で認識に大幅なギャップが継続していることから、提言の内容を一部変更（赤字部分を追加）。	
追加	【提言⑩】人権尊重に向けた取組の促進
上記アンケートにて、ESG 活動における主要テーマに「人権尊重」を挙げる企業が増加していることを踏まえ、提言に新規追加。	

当会は、生命保険会社の投資家としての役割を一層発揮するため、ESG 投融資やスチュワードシップ活動の取組みを積極的に推進しています。ESG 投融資やスチュワードシップ活動の継続・強化などを通じ、社会課題の解決に貢献していきます。

本報告書を通じ、日本の株式市場の更なる活性化と、持続可能な社会の実現に向けた企業、投資家等による取組みがさらに進展する一助になることを期待します。

以 上